

【サイクリング部活動報告】

—長野県・諏訪湖から中央アルプスと南アルプスに

挟まれた伊那谷サイクリング—

実施日：令和元年6月11日・12日

走行距離：76km

参加者：大澤秀一、金久保篤司、四方順次、高橋充、田淵義明、手塚敏文、飛弾野真由美、森和晴 以上8名
(プランリーダー：四方順次)

【概要】

お天気予報では前日まで「雨 60%」で雨の中の走りを覚悟。ところがどっこい我々は全員行いが良いのでお天道様がニコニコ状態。JR 岡谷駅前に12時集合。計画では諏訪湖一周17kmを走り、それから伊那駅まで27kmを走る予定だったが、お天道様がいつ何時気が変わるか予測がつかいぬるので、いきなり伊那駅に向かって「GO!」。しばらく走るとやっぱ「雨」。ちょうどよさげな雨具準備小屋を見つけて準備完了!“しゅっぱ〜つ!”の掛け声と共に走り出すも、振り返るとみんな揃っていない。突然、“パンクだあ〜”との声。そいで、また小屋までバック。パンク修理がまた大変だった。タイヤがなかなか外せない。やっと修理完了で出発。うまい具合に雨は止んでいた。

予定通り伊那駅に到着。桜で有名な高遠のホテルまでは送迎バスで。

翌日、飯田市まで天竜川支流の川沿いサイクリング道を約12km、快適にとっても気持ち良く走り、後は天竜川に沿って、一路飯田まで。曇り空で両サイドの残雪のアルプスを見ることができなかったのが残念。帰りの時間を考えて、飯田駅の手前の駅から岡谷駅まで輪行して、無事岡谷駅に到着で解散。(文：四方順次)

